

事務事業名 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1922

施策：	10	高齢者福祉の充実 ~地域包括ケアシステムの推進~	財務コード	01040102-17-00
基本事業：	02	介護予防の推進	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	週2回以上、運動をする高齢者の割合 健康づくりのための生活習慣を実践している高齢者の割合 新規要支援・介護認定者の割合		担当課	健康推進課
			担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和03年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
75歳以上の市民		健康推進課保健師 医療・健診・介護データの分析 事業の企画調整 ハイリスクアプローチ（個別の支援） 健診結果等から、低栄養を疑われる人や血圧、血糖値等が高い人に保健師や管理栄養士が訪問等を行い、保健指導や病院受診を促すなどの支援を行う。 ポピュレーションアプローチ（通いの場へのかかわり） 保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士といった専門職が通いの場に出向き、フレイル（虚弱）を予防するための講話や健康相談を行う。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
・高齢者が適切な医療や介護サービスにつながることで、疾病予防・重症化予防を促進し、健康寿命の延伸、医療費抑制につなげる。 ・保健・介護・医療が連携して高齢者を支える仕組みづくりを強化し、地域包括ケアシステムの推進につなげる。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
ハイリスクアプローチの実施率	%		96.3	100	100			
ポピュレーションアプローチの実施箇所数	回		9	72	72			

5. コスト								
事業費	計	千円		5,886	6,653	6,936		
	国	千円			0	0		
	県	千円			0	0		
	地方債	千円			0	0		
	その他	千円		5,886	6,653	6,936		
一般	千円			0	0			
正職員人工数	人工		0.5	0.5				
正職員人件費	千円		3,961	3,864				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		9,847	10,517	6,936			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	<状況> ハイリスクアプローチの実施率は96.3%、ポピュレーションアプローチの実施回数は9回でした。 <原因> ポピュレーションアプローチの実施回数が9回にとどまった原因は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業が中止となったためです。 <課題> 後期高齢者の健診受診率の低さ

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）				
対象動向	維持	類似事業	あり	<状況> <原因> <課題>
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり	
成果向上余地	中程度			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
--	--

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」が令和2年4月1日に施行されたことにより、市は「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を令和6年度までに開始することとされました。 本市では、令和3年度から本事業を開始しました。	ハイリスクアプローチ（個別の支援）は市内全域を対象 ポピュレーションアプローチ（通いの場への支援） 令和3年度 筑紫南地区・御笠地区 令和4年度 二日市地区・二日市東地区 令和5年度 筑紫地区・山口地区・山家地区